

(公表)

資料 1

令和3年度 消費者庁  
消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業  
成年消費者向け教材制作 実証報告

令和4年3月8日

# 目次

---

## 1 事業目的・事業概要

1-1 事業目的 .....	p.3
1-2 事業概要 .....	p.4

## 2 成年向け実証について

2-1 実証検証の目的と概要 .....	p.6
2-2 実証検証内容 .....	p.7
2-3 成年消費者向け研修 .....	p.8
2-4 消費者向け配信 .....	p.9

## 3 実証検証報告

3-1 アンケート .....	p.11
3-2 ヒアリング .....	p.19
3-3 消費者向け CATV情報配信の視聴後アンケート .....	p.21
3-4 実証検証総括 .....	p.24

## 4 制作教材の報告について

4-1 教材コンテンツ全体 .....	p.26
4-2 教材制作内容 .....	p.27
4-3 教材の改修状況について .....	p.31



## 事業目的・事業概要

## 1-1 事業目的

新型コロナウイルス感染症の拡大や、新しい生活様式への移行に伴い、消費のデジタル化が加速しています。その一方で、急速な変化に伴う消費者の脆弱性につけこんだ消費者トラブルの防止が課題となっています。消費者におけるデジタル化への対応を早急に促すべく、幅広い年齢層の消費者に適した学習教材が必要とされています。また、タブレットやスマートフォンが普及し、インターネットが社会インフラの一部となり、教材の可搬性、教材へのアクセシビリティ、教材の変更容易性などを加味し、より学習しやすい教材として、デジタル教材を提供する必要性が増えています。そこで、**消費者トラブル防止の啓発用デジタル教材を制作し、制作物の内容検証、及び当該教材を活用した効果的な啓発手法の構築を目的とし、本実証を行いました。**

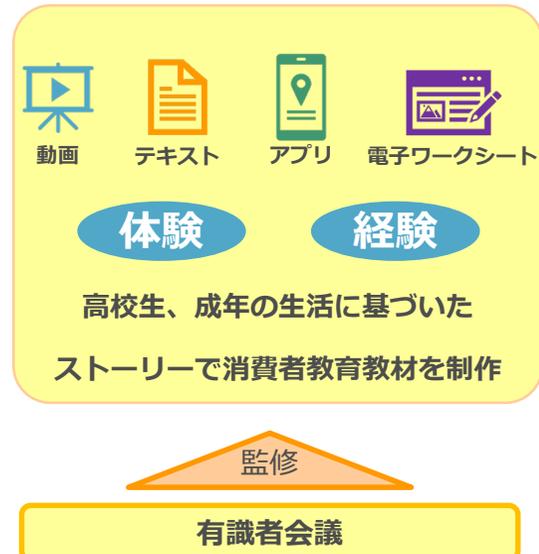
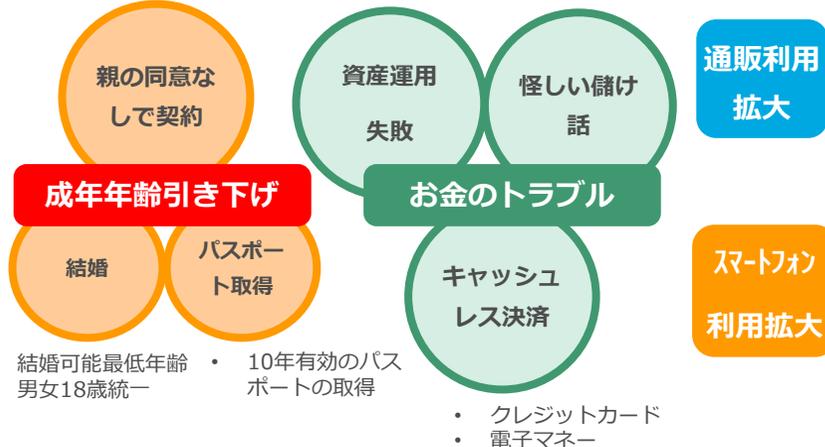
### ■背景

- (1) 成年年齢18歳への引き下げによる消費者トラブル
- (2) 人生100年時代を意識した成年のお金に関するトラブル
- (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大によるインターネット通販利用拡大
- (4) タブレットやスマートフォンが世代を問わず普及し、インターネットが社会インフラの一部

- ・ 賃貸
- ・ 携帯電話
- ・ ローン
- ・ クレジットカード

- ・ 投資
- ・ 外貨建て
- ・ 生命保険

- ・ マルチ商法
- ・ 情報商材
- ・ 振込み詐欺



消費者教育を通じて  
消費者トラブル被害者なしの社会に



## 1-2 事業概要

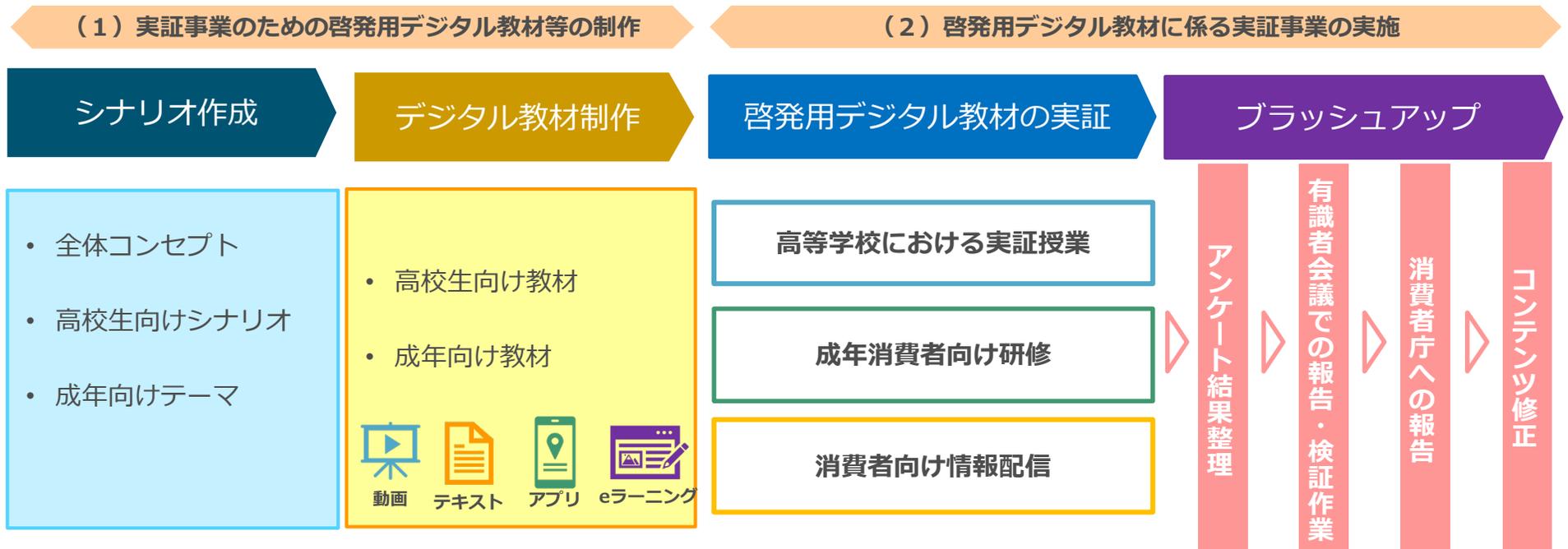
本事業「消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業」では、「（１）実証事業のための啓発用デジタル教材等の制作」、「（２）啓発用デジタル教材に係る実証事業の実施」の２つの事業を中心に実施しました。

### （１）実証事業のための啓発用デジタル教材等の制作

実証事業の中で活用する動画コンテンツ、授業用教材、その他デジタルコンテンツ及びWebポータルサイトを制作しました。教材は、高等学校の授業及び成年向け研修での活用、及びCATV配信・Web配信によって消費者の利用に提供することを前提としております。

### （２）啓発用デジタル教材に係る実証事業の実施

消費者の世代に合わせて制作された実証事業のための啓発用デジタル教材等の内容検証、及び当該教材を活用した効果的な啓発手法の構築を目的として、①高等学校における試験授業、②成年消費者向け研修、及び③消費者向け情報配信を内容とする実証事業を行いました。また、実施にあたり「実証に関する有識者委員会の設置・運営」をし、本事業を効果的・効率的なものとししました。





## 成年向け実証について

## 2-1. 実証検証の目的と概要

### ■ 目的

制作した啓発用デジタル教材について、以下を目的として実証検証を実施した。

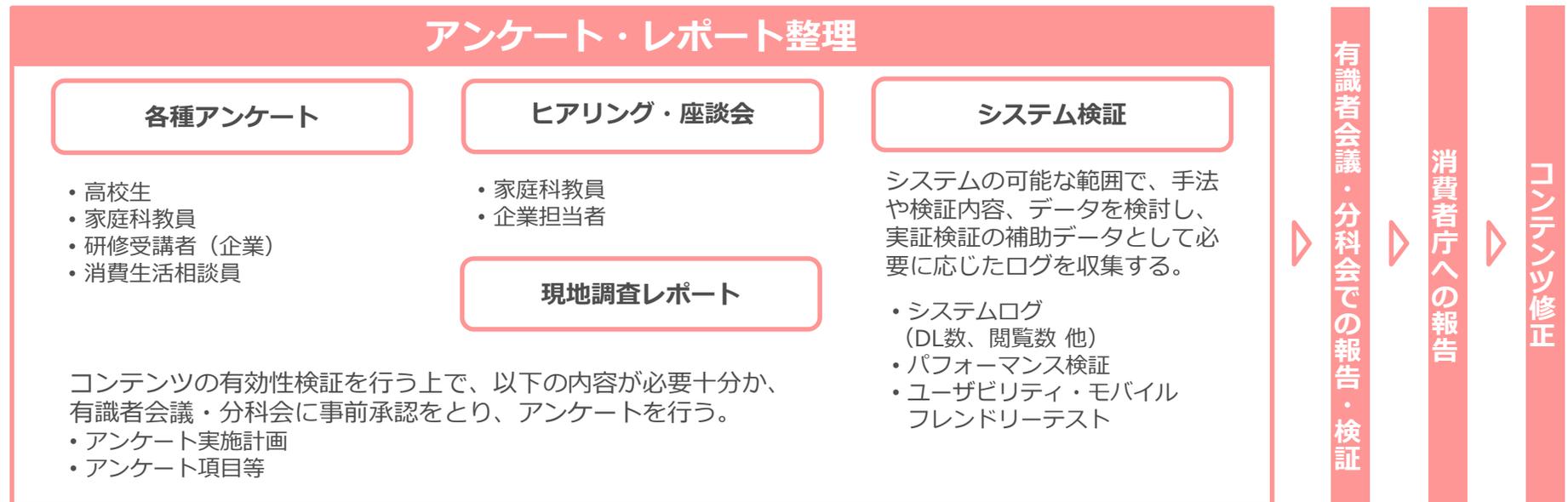
- ◆ 各世代に向けた効果的な消費者教育教材となっているかの検証【**内容検証**】
- ◆ 当該教材を活用した効果的な啓発手法の検証【**啓発手法の検証**】
- ◆ 利用者からのフィードバック及び制作したデジタル教材のブラッシュアップ【**教材のブラッシュアップ**】

### ■ 概要

以下の手法を用いて、本実証検証を実施した。

- ◆ 知識理解度の変容を把握するためのアンケート
- ◆ コンテンツに対する意見を集約するためのヒアリング・座談会
- ◆ 実証授業についての現地調査レポート
- ◆ システムログ等の整理

### <実証検証の流れ>



## 2-2. 実証検証内容

### ■ 実証検証

以下の表の通りアンケート・ヒアリングによる実証検証を実施した。

実証種別	対象	目的	手法
高等学校	高校生	知識理解度の変容を把握（効果的な内容であったか） ・知識理解度 ・ユーザビリティ	アンケート （Microsoft Forms）
	教員	コンテンツに対する意見を集約 ・ユーザビリティ ・使い勝手の良さ（授業の組み立てやすさ）	ヒアリング・座談会
	有識者	実証授業についての評価 ・授業の様子で気になったこと・意見等 ・事務局による客観観察（生徒のレスポンスや操作状況、 つまずきポイント等）含む	現地調査レポート
成年消費者向け	受講者	知識理解度の変容を把握（効果的な内容であったか） ・知識理解度 ・ユーザビリティ	アンケート （Microsoft Forms）
	企業担当者	コンテンツに対する意見を集約 ・ユーザビリティ	ヒアリング
消費者向け	消費生活相談員 視聴者（任意）	・啓発手法の評価 ・CATVの配信におけるコンテンツ内容が適切であったか	視聴後アンケート （メール・QRコード）

- ◆ 成年消費者向けの実証予定企業ではGoogleフォームへのアクセスが厳しいため、アンケート手法はMicrosoft Formsを採用
- ◆ ヒアリングは、新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、オンライン会議で実施
- ◆ 現地調査レポートは、有識者が現地に赴いて実証授業を視察し、レポートを作成

## 2-3. 成年消費者向け研修

成年消費者向け研修の実証について、以下4社の企業様にご協力いただき実施した。

### 実証研修 対象企業

社名	本社所在地	社員数	実証研修対象人数	実証期間
パナソニック（株）	大阪府	10万人以上	1,000名程度	2021年12月下旬～2022年1月下旬
明治安田生命保険（相）	東京都	1万人以上 ※内勤従業員数	1,200名程度	2021年12月中旬～2022年1月上旬
（株）ときわ	徳島県	100-200名	20名	2021年12月上旬～中旬
（株）フジみらい	徳島県	100-200名	10名程度	2021年12月上旬

### 調査実証内容

- 企業の社員が、成年向け消費者教育研修ストーリーに沿って、世代別のテーマをeラーニング研修で受講
- 受講者は、若年者層向け／中高年者層向けのうち、自身の世代に合ったeラーニングコースどちらかを選択する。両コースともに全5テーマで構成されているが、各社ごとに研修可能時間等が異なるため、全5テーマもしくは任意のテーマを選択し受講
- 研修終了後、各自アンケートにご回答いただいた

eラーニング 若年者層向け 成績を見る

点数・進捗状況

- ① 電子商取引の契約とは 学習を始める 未学習  
(約5分) 講義内容
- ② クレジットカードの特徴と注意点とは? 学習を始める 未学習  
(約6分) 講義内容
- ③ デジタルプラットフォームの仕組み、注意点  
トラブルに遭った時の対応 学習を始める 未学習  
(約4分) 講義内容
- ④ 消費者を保護する制度の内容を知ろう 学習を始める 未学習  
(約7分) 講義内容
- ⑤ 消費生活センターの役割と相談の仕方を知ろう 学習を始める 未学習  
(約6分) 講義内容

未学習だと「学習をはじめよう」が表示されています。学習した結果、満点の場合は「学習済み」になり、満点でなかった場合は「再チャレンジ」が表示されます。

eラーニング 中高年者層向け 成績を見る

点数・進捗状況

- ① 電子商取引の契約とは 学習を始める 未学習  
(約5分) 講義内容
- ② クレジットカードの特徴と注意点とは? 学習を始める 未学習  
(約6分) 講義内容
- ③ お金の管理(収支予算の算出、多重債務) 学習を始める 未学習  
(約3分) 講義内容
- ④ 消費者を保護する制度の内容を知ろう 学習を始める 未学習  
(約7分) 講義内容
- ⑤ 消費生活センターの役割と相談の仕方を知ろう 学習を始める 未学習  
(約6分) 講義内容

未学習だと「学習をはじめよう」が表示されています。学習した結果、満点の場合は「学習済み」になり、満点でなかった場合は「再チャレンジ」が表示されます。

## 2-4. 消費者向け配信

消費者向け配信について、徳島県内のケーブルテレビ事業者様にご協力いただき実施した。

### 実証配信企業

- ケーブルテレビ徳島（株）

### 実証配信スケジュール

- 情報配信期間：2021年12月1日～2022年1月21日
- アンケート：配信開始時期～配信終了迄

### 実証配信コンテンツ

- 成年向け動画12本をCATV番組内で配信





## 実証検証報告

## 3-1. アンケート

### 成年消費者向けアンケート

成年消費者向けアンケートの実施状況については以下の通り。※第3回分科会から数値の変動なし

社名	研修前アンケート	研修後アンケート
パナソニック（株）	-	782件
明治安田生命保険（相）	-	1,134件
（株）ときわ	21件	19件
（株）フジみらい	11件	10件

各アンケートの観点については以下の通り。

#### 【研修前アンケート】

- ① インターネットでの買物経験
- ② 過去の消費生活についての学習内容

#### 【研修後アンケート】

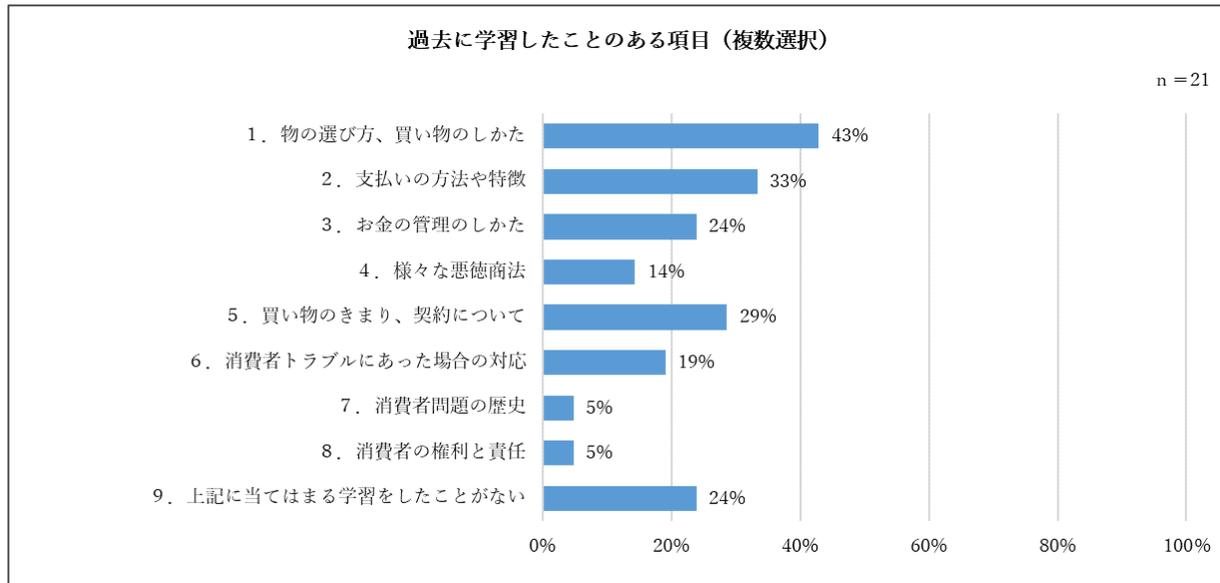
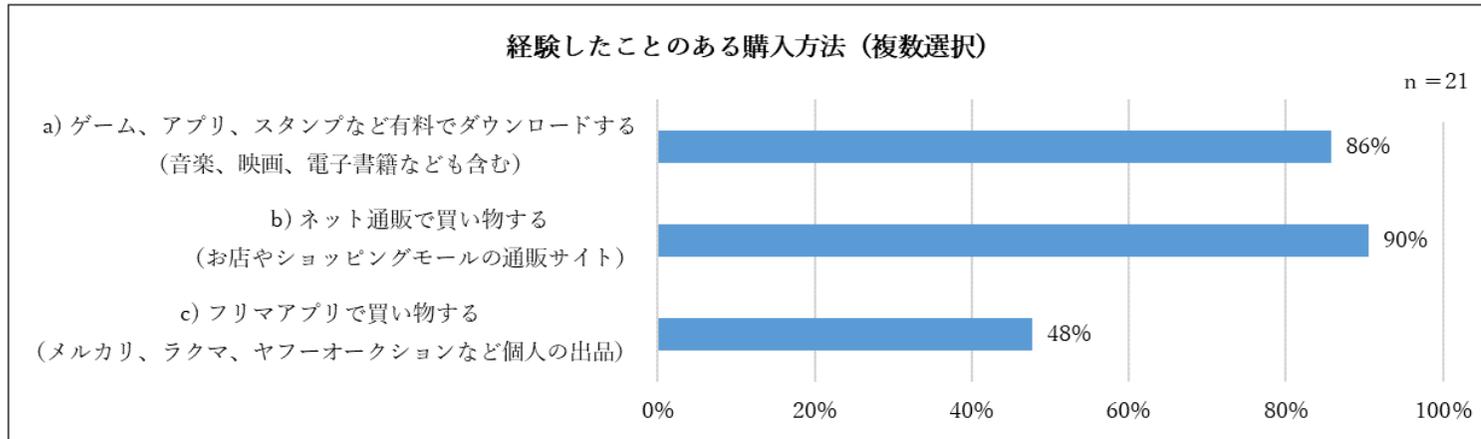
- ① 受講経験
- ② 受講場所
- ③ 使用端末
- ④ 各テーマの教材への所感
- ⑤ デジタル社会の消費者問題への理解度

次ページ以降に、アンケート結果の集計グラフを記載する。

### 3-1. アンケート

## 成年消費者向けアンケート – 研修前アンケート

【株式会社ときわ】



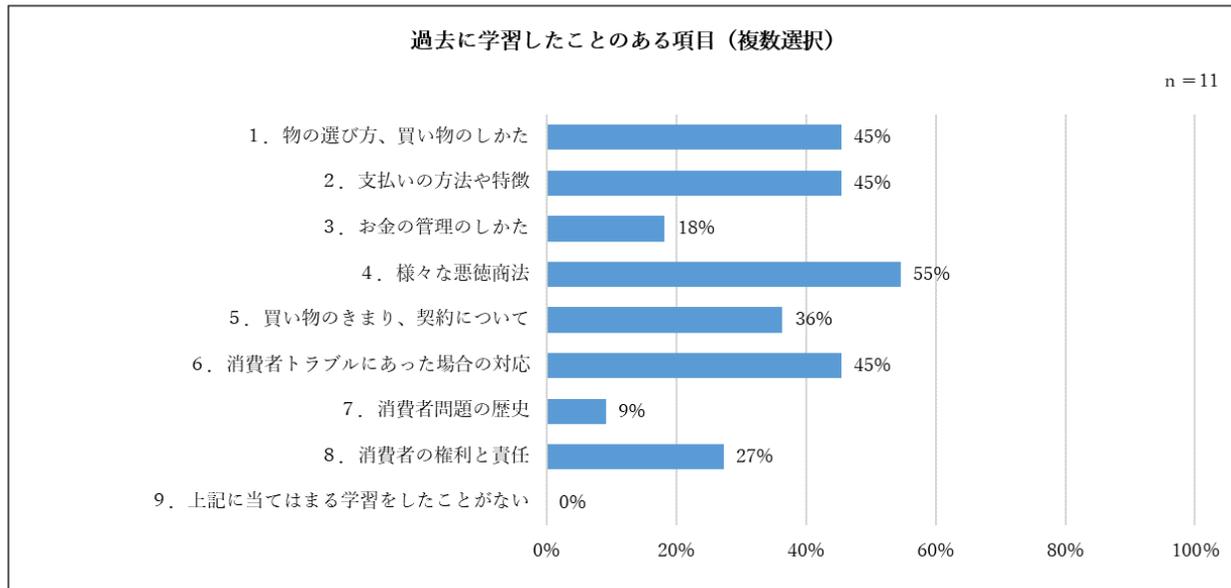
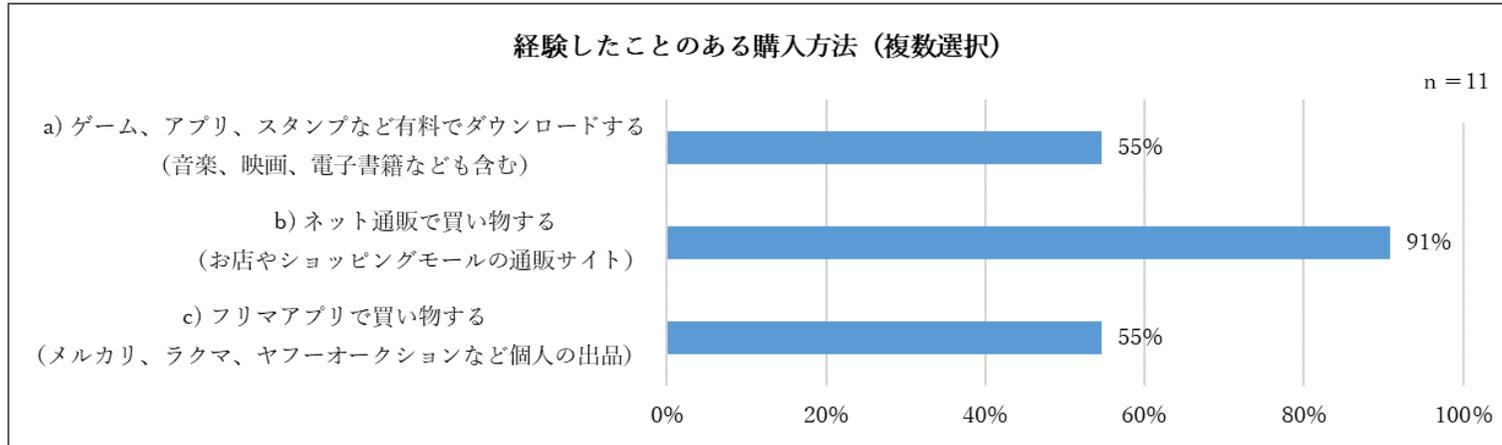
およそ半数以上の社員がインターネットを通して買い物をしたことがあることが分かる。

「物の選び方、買い物のしかた」や「支払いの方法や特徴」を学習したことがある社員が多いことから、インターネットで商品等を購入する際の留意点を認識している傾向がある。

### 3-1. アンケート

## 成年消費者向けアンケート – 研修前アンケート

【株式会社フジみらい】



ネットでの通信販売の使用経験が最も多く、11名中10名が使用したことがあるとの回答であった。

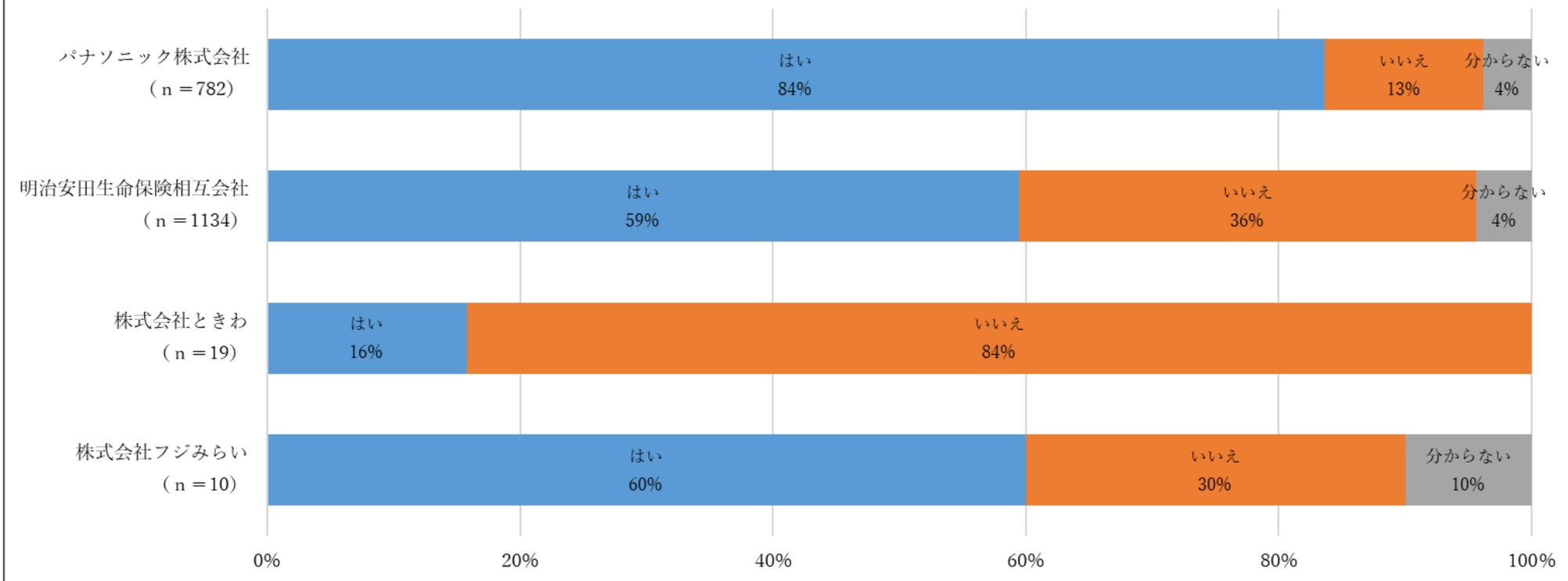
また、学習したことがある項目として「様々な悪徳商法」が最も多く、「お金の管理のしかた」や「消費者問題の歴史」については少ないことが分かる。

### 3-1. アンケート

## 成年消費者向けアンケート – 研修後アンケート

【研修後アンケート：4社】

過去にeラーニングを受講したことがあるか（単一選択）

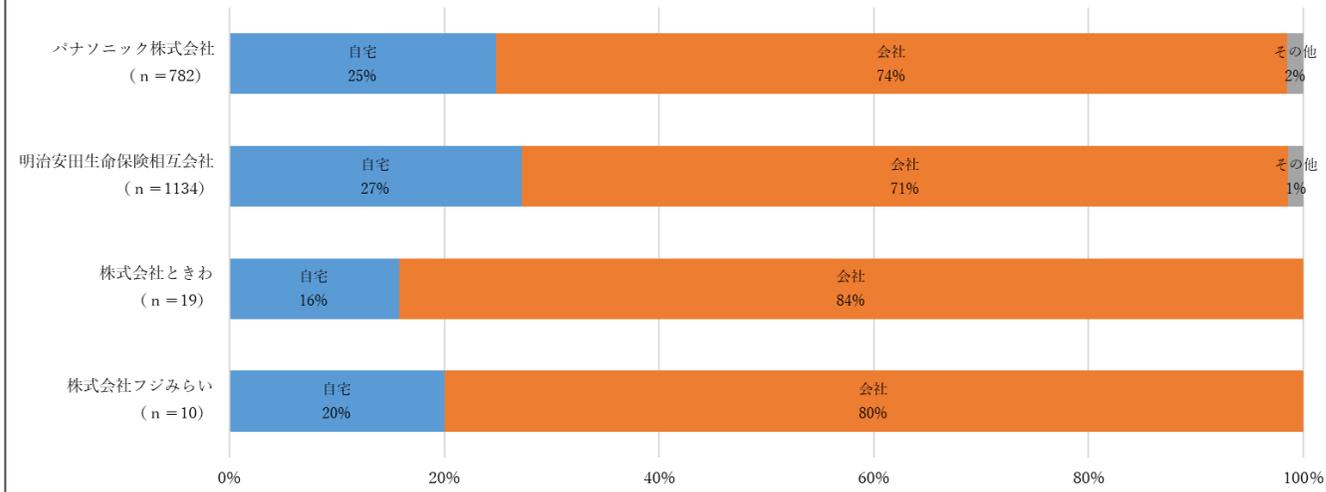


パナソニック株式会社、明治安田生命保険相互会社及び株式会社フジみらいは過去にeラーニングを受講した経験のある受講者が半数以上おり、特にパナソニック株式会社の受講者は8割以上が経験したことがあると回答している。

### 3-1. アンケート

## 成年消費者向けアンケート – 研修後アンケート

今回、どこでeラーニングを受講したか（単一選択）



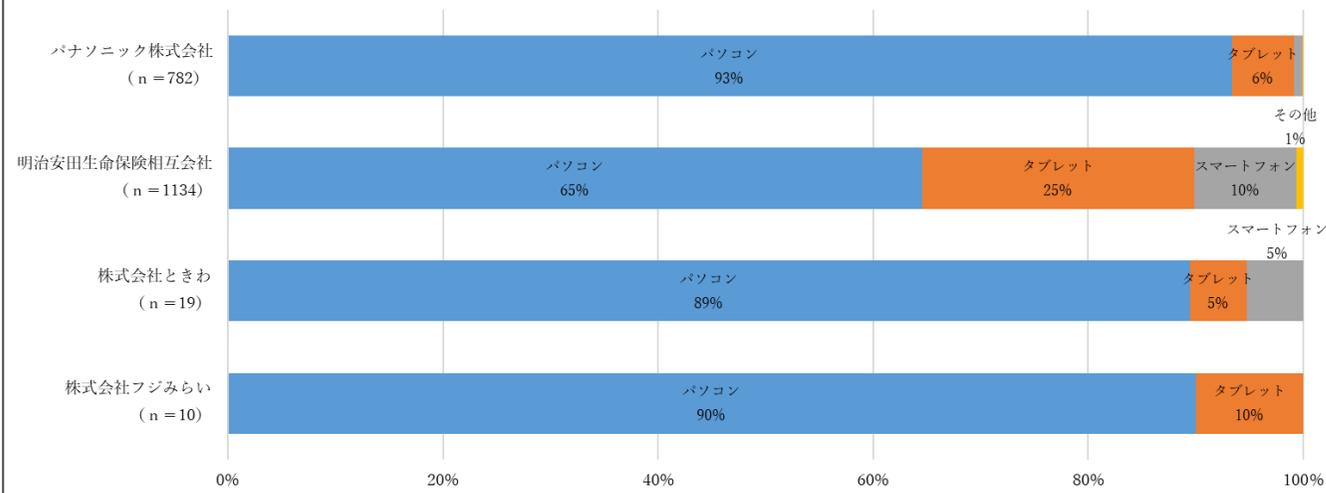
【凡例 (上の図 / 下の図)】

- 青色 … 自宅 / パソコン
- 橙色 … 会社 / タブレット
- 灰色 … その他 / スマートフォン
- 黄色 … - / その他

全企業で共通して、今回のeラーニングを会社にて受講した従業員が多いが、約2～3割は会社以外で受講したと回答があった。「その他」には、出先や通勤電車等での受講が含まれる。対面式の研修と比べて今回のようなeラーニングでの研修は、時間や場所に関係なく受講できるというメリットを活かすことができている。

約6～9割がパソコンを使用して受講しているが、タブレットや特にスマートフォンでの受講者もあり、受講場所の回答結果と併せても手軽に実施できることがわかる。

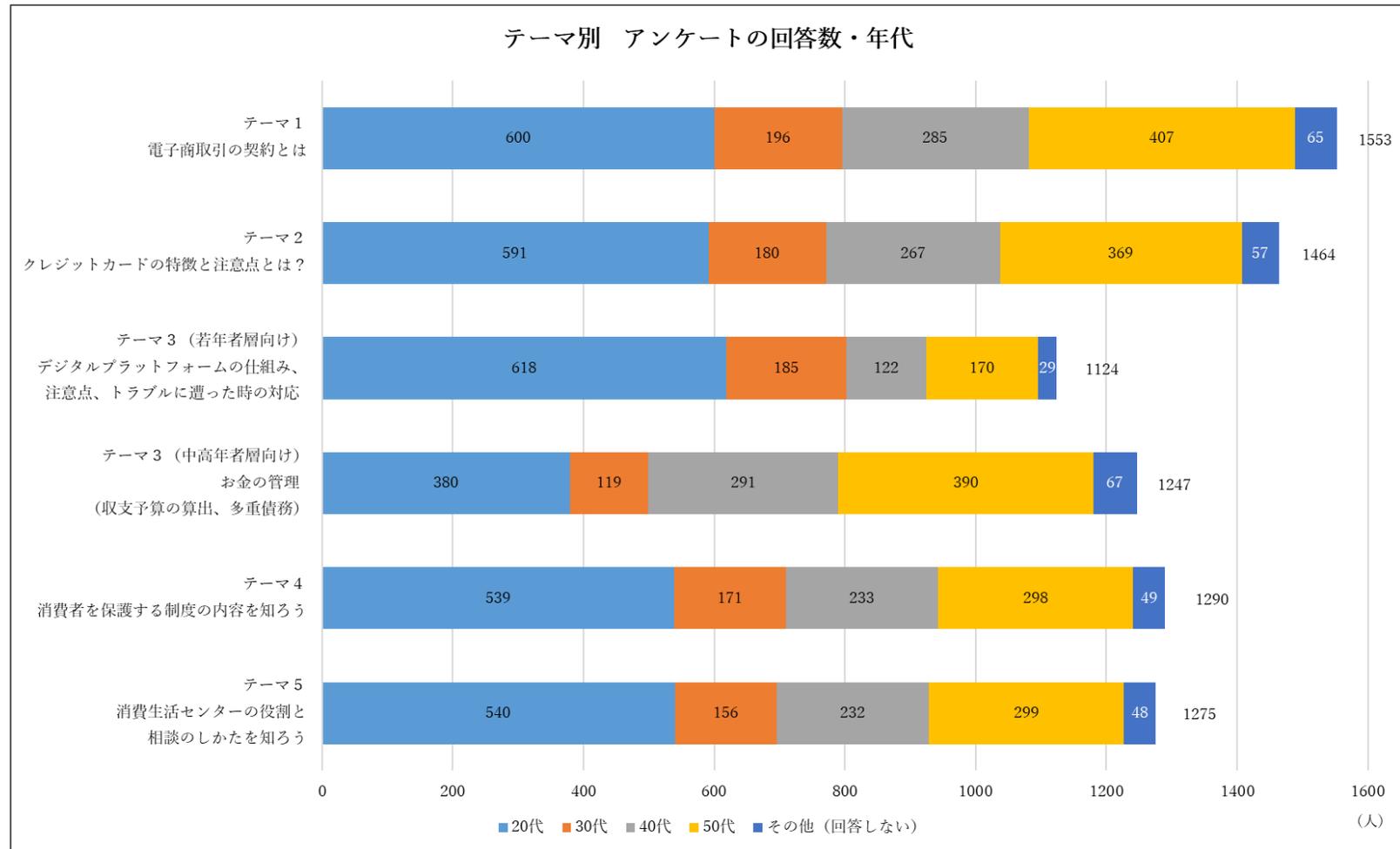
今回、どの端末を使用して受講したか（単一選択）



### 3-1. アンケート

## 成年消費者向けアンケート – 研修後アンケート

eラーニング研修各テーマでのアンケート回答数は以下のとおり。  
各テーマ内の項目で5問中2問以上回答があった受講者を集計した。



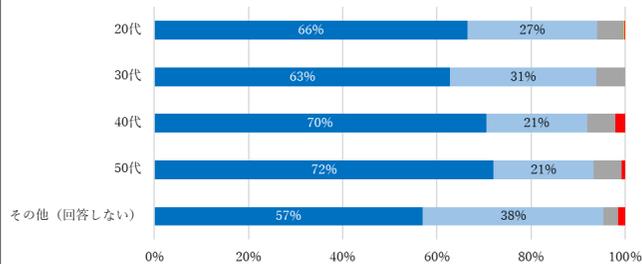
### 3-1. アンケート

## 成年消費者向けアンケート – 研修後アンケート

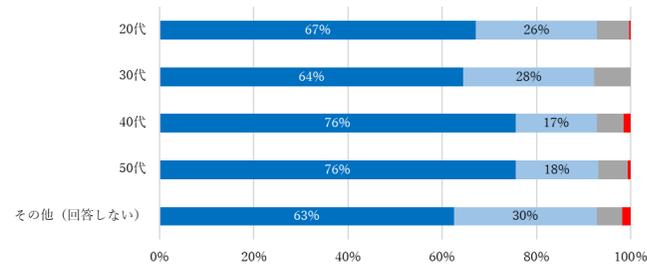
【テーマ別】内容を理解できたか

■あてはまる ■ややあてはまる ■どちらともいえない ■ややあてはまらない ■あてはまらない

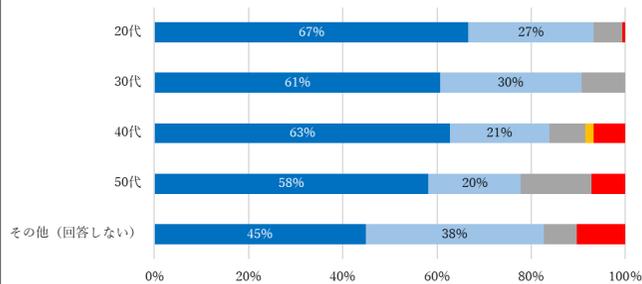
テーマ1：電子商取引の契約とは



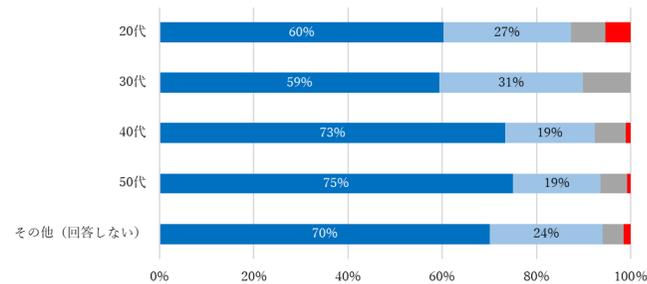
テーマ2：クレジットカードの特徴と注意点とは？



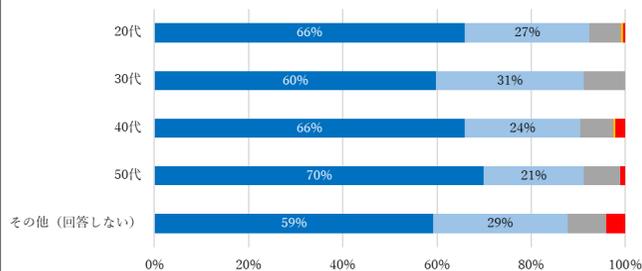
テーマ3（若年者層向け）：デジタルプラットフォームの仕組み、注意点、トラブルに遭った時の対応



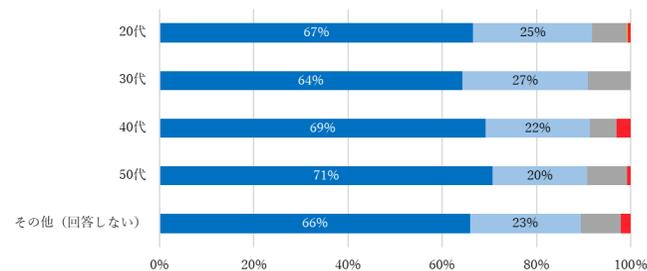
テーマ3（中高年者層向け）：お金の管理（収支予算の算出、多重債務）



テーマ4：消費者を保護する制度の内容を知ろう



テーマ5：消費生活センターの役割と相談のしかたを知ろう



40代、50代の受講者はほとんどのテーマで90%以上が「理解できた」と回答しているが、「若年者層向けテーマ3：デジタルプラットフォームの仕組み、注意点、トラブルに遭った時の対応」のみ40代が84%、50代が78%で、90%未満であった。また、他のテーマに比べて「理解できなかった」と回答した受講者が多く、比較的理解度が低いことが分かる。

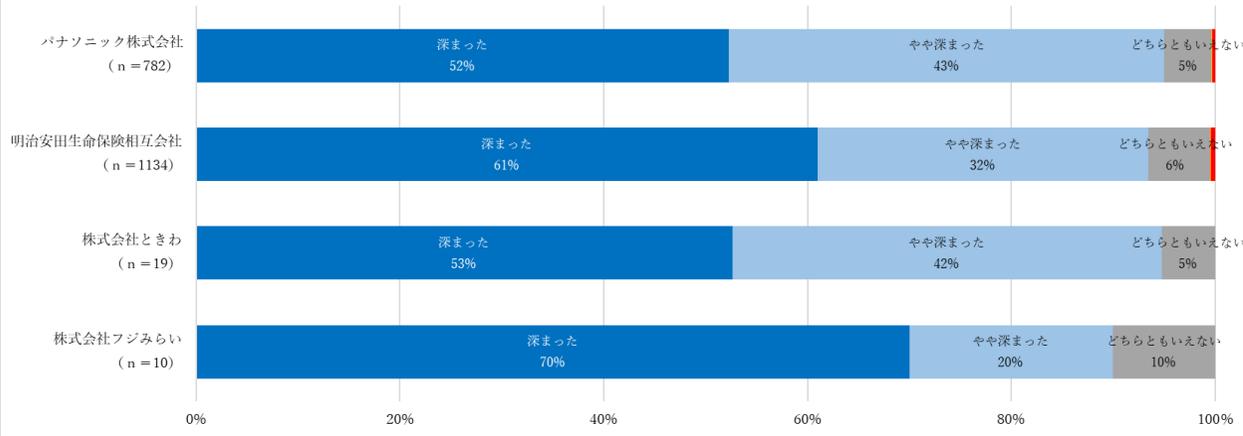
一方、20代の受講者は「中高年者層向けテーマ3：お金の管理（収支予算の算出、多重債務）」で「理解できなかった」と回答した割合が他のテーマと比較すると高い。

また、30代の受講者は各テーマで「理解できなかった」と回答した人がいなかった。

### 3-1. アンケート

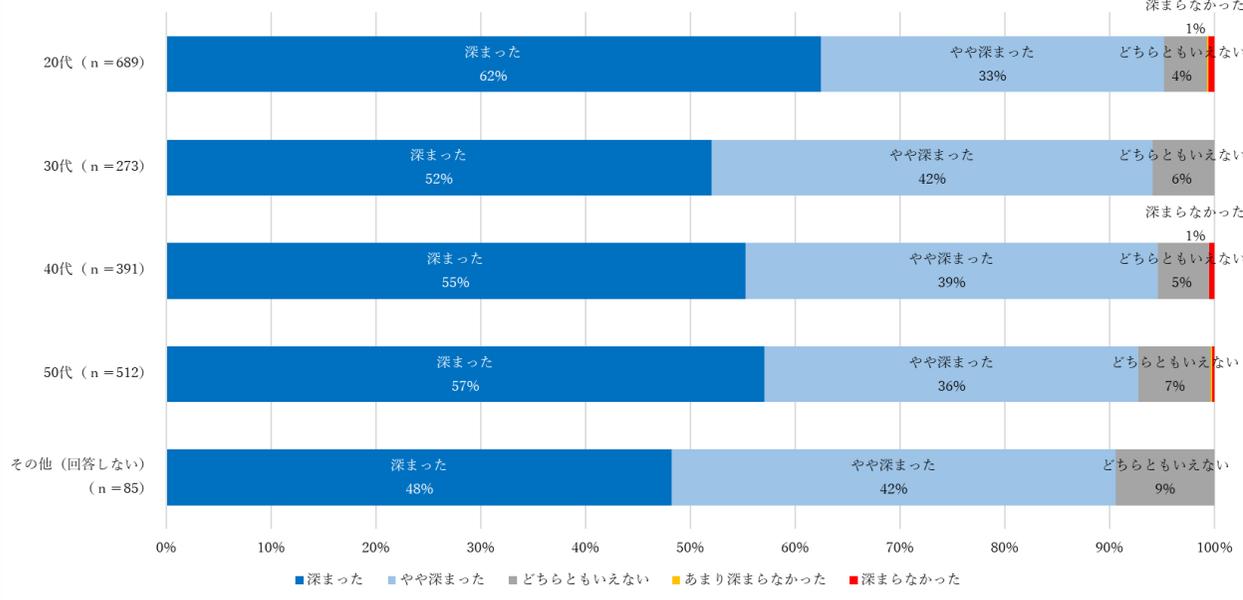
## 成年消費者向けアンケート – 研修後アンケート

【企業別】 デジタル社会の消費者問題について理解が深まったか（単一選択）



- 濃青 … 深まった
- 薄青 … やや深まった
- 灰色 … どちらともいえない
- 黄色 … やや深まらなかった
- 赤色 … 深まらなかった

【年代別】 デジタル社会の消費者問題について理解が深まったか（単一選択）



デジタル社会への消費者問題について理解が深まったかを5段階のアンケートを実施し、企業別、年代別に分けて集計を行った。

全企業を通して、9割以上の受講者が「深まった」と回答している。

20代の受講者が最もデジタル社会の消費者問題についての理解を深めていることが分かるが、年代による差異はあまり見られなかった。

※他、個別の意見等については「調査・実証事業報告書（案）」に記載。

## 3-2. ヒアリング

### ヒアリング

実証研修に参加いただいた各企業の企業担当者、受講者に参加いただき、実証後にヒアリングを実施した。

社名	実施日	参加人数
パナソニック（株）	2022年1月24日（月） 10:00～	担当者4名
明治安田生命保険（相）	2022年1月19日（水） 14:00～	担当者3名
（株）ときわ	2022年1月12日（水） 10:00～	担当者2名 受講者4名
（株）フジみらい	2022年1月13日（木） 14:00～	担当者2名

※すべてのヒアリングにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、オンライン会議で実施

主なヒアリング内容は以下のとおり。

【担当者向け】 管理機能及びマニュアルについて、受講者の様子について 他

【受講者向け】 文字の大きさ・分量・ボリューム、操作性、ログイン機能、マニュアルについて 他

**画面表示や操作性については概ね問題ない、との回答が多かったが、ログインに手間取る受講者が多かった。**

**ログイン機能及び管理機能については、4社とも「必要である」と回答しており、社員が多い企業ではより必要性が高いとの回答があった。**

次ページにヒアリング回答（抜粋）を記載する。

## 3-2. ヒアリング

### ヒアリング – 回答内容

#### ◆eラーニング研修について

- 先に動画を見る形式なので内容が頭に入りやすかった、知らない内容もあり勉強になった、という感想が多かった
- 定期的に消費者関連の新しいテーマ情報を提供いただき、最新の知見を得られる環境があることが望ましい

#### ◆クイズについて

- そこまで難しくなく、簡単すぎることもなかった（人によっては少々簡単だったという回答もあり）
- あまり難しすぎても受講が大変になるため丁度良かったと思う
- もう少し問題数を増やしても良いのではと思った
- 年代層別でなく、難易度も3段階位で設定していただくとより良くなるのでは

#### ◆ユーザビリティについて

- 文字の大きさ、量ともにちょうどよく、見やすいと感じた
- クリックする箇所（入室ボタンや動画の再生リンク等）は、もう少し大きくしたり目立たせたりした方がわかりやすい
- ログイン状況や方法がわかりにくいため改善して欲しい（例：「受講する」⇒「ログインする」等）
- 画面遷移を改善して欲しい（例：「トップに戻る」がない、入室の仕方がわかりにくい、再受講時の動画視聴が面倒）

#### ◆管理機能について

- ルームIDを発行時に確認画面を印刷できる機能は便利だと思った
- 画面上にフィルターやソート機能があるとさらに使いやすい
- 受講履歴データは「単元・テーマ名」ごとに「結果・受講開始・受講終了・受講期間」が別の列で表示できると良い

#### ◆操作マニュアルについて

- PCとスマホでGUIに差が無く、画面付きのマニュアルで非常に分かりやすかった
- 情報量が多かったため、もう少し簡潔であればより良かったと思う

（他意見については「実証・調査事業報告書」参照）

### 3-3. 消費者向け CATV情報配信の視聴後アンケート

#### 消費者向け CATV情報配信の視聴後アンケート

消費者向け CATV情報配信の視聴後アンケートの実施状況については以下の通り。

対象	視聴後アンケート
消費者	3件
相談員	21件

#### ◆ 消費者からのアンケート回答

⇒ 3件とも5分尺動画の感想で、総じて「動画の長さは丁度よく、分かりやすく理解できた」との回答。  
また、「デジタル社会の消費者問題について理解が深まった」との回答もあった。

#### ◆ 相談員からのアンケート回答

⇒ 3分半ほどの動画では長さについて、「丁度良い」と感じる専門家が多かったが、  
5分ほどの動画になると、長く感じたり短く感じたりと人によって異なることが分かった。  
また、専門家アンケートでは用語についてのコメントが多かった。以下に一例を示す。

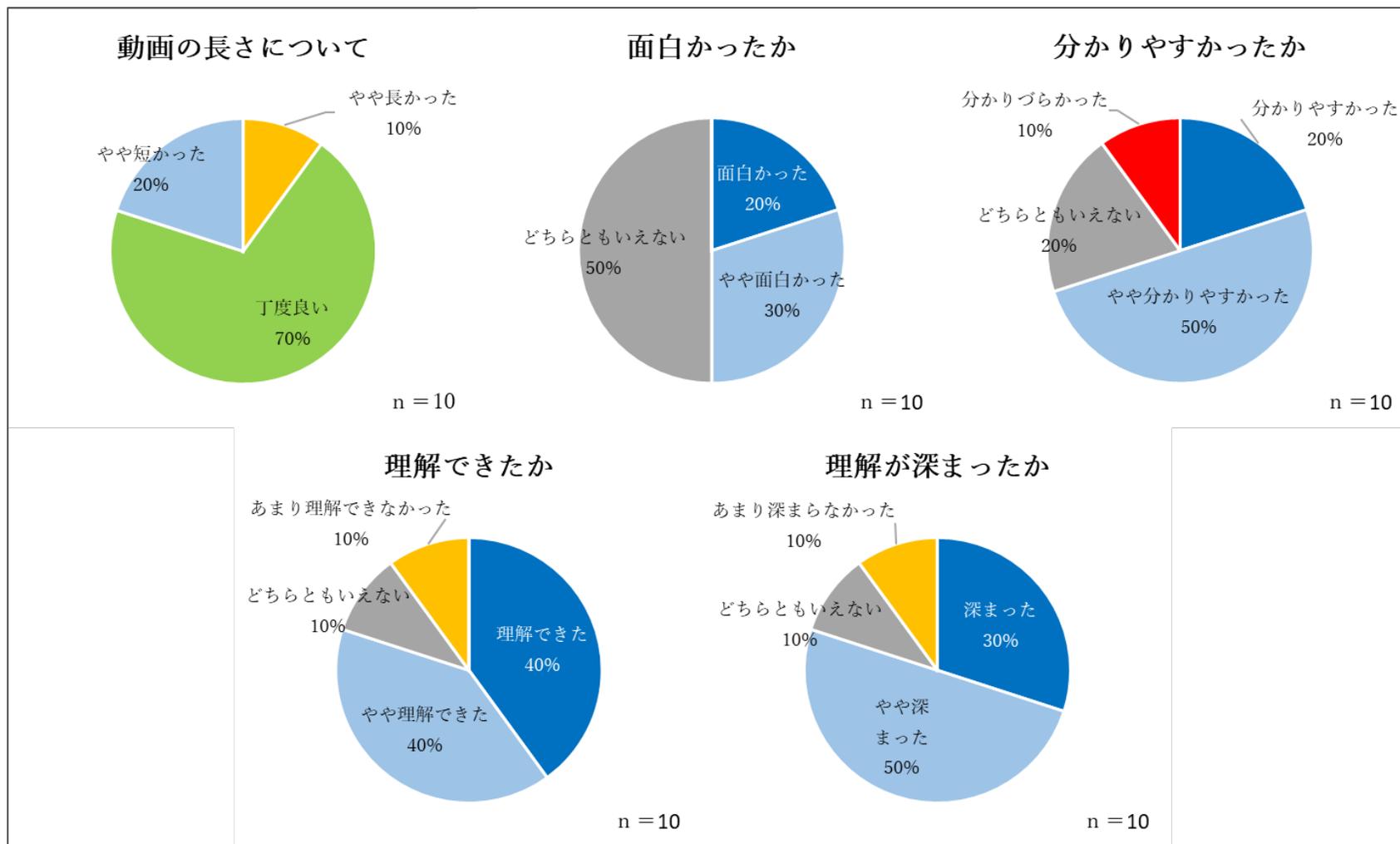
- 動画画面の中で、**C to C取引（個人間取引）**というようにカッコ書きを入れた方がわかりやすいと思いました。**C to C取引という言葉に馴染みがないと思う**ので…
- タイトルのC to Cがまずわからないと思う。**意味がわからないと見るきっかけにならない**と思う。
- ネット通販では、**消費者の一方的な都合で解約が出来ないことを伝え、慎重に契約するよう強調して欲しい**と思いました。あと、**返品特約が大切**なことも。

（他意見については「実証・調査事業報告書」参照）

### 3-3. 消費者向け CATV情報配信の視聴後アンケート

## 消費者向け CATV情報配信の視聴後アンケート

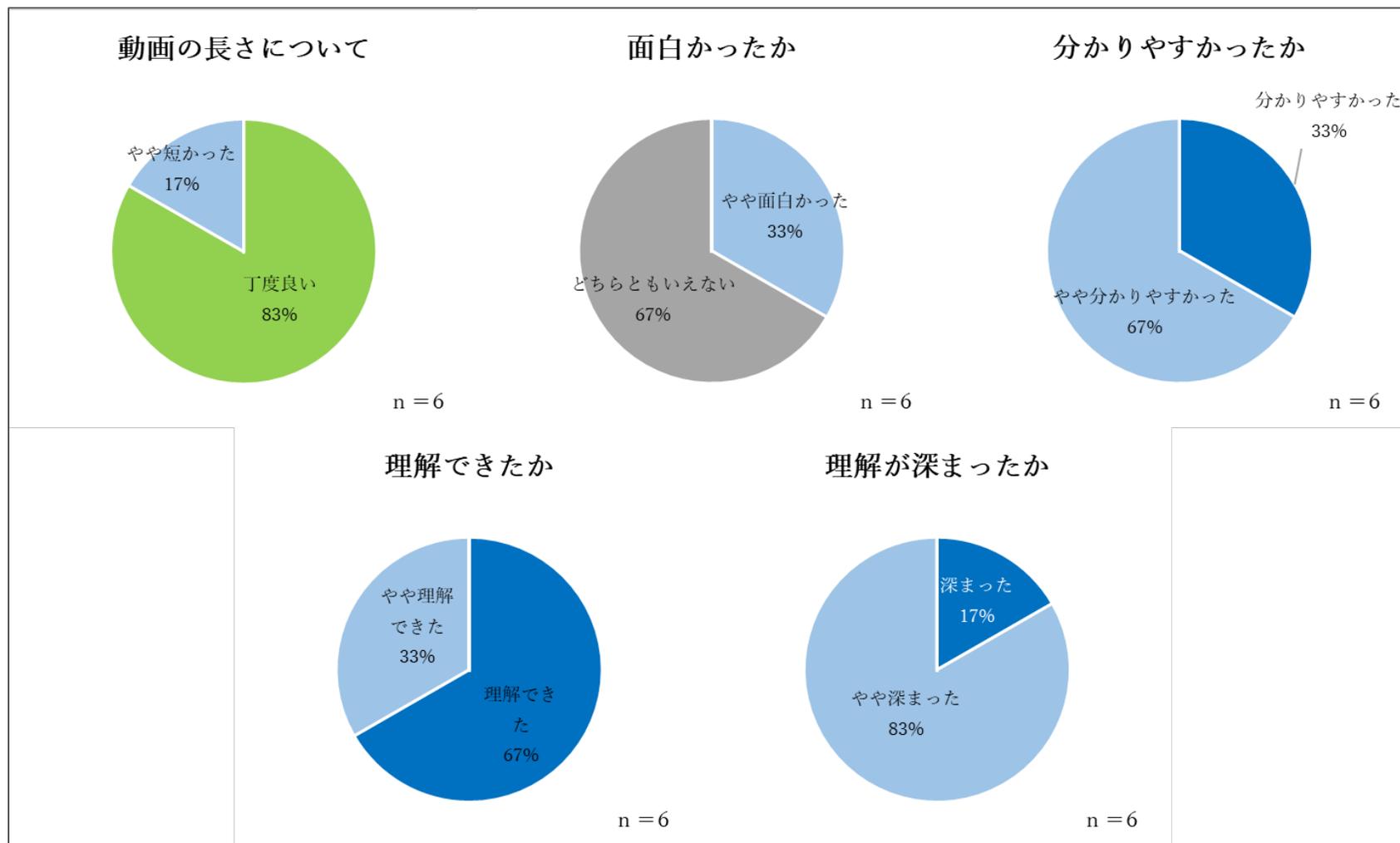
2件以上回答があった動画「電子商取引の契約とは（4分53秒）」についての相談員アンケート結果は以下の通り。



### 3-3. 消費者向け CATV情報配信の視聴後アンケート

#### 消費者向け CATV情報配信の視聴後アンケート

2 件以上回答があった動画「CtoC取引と注意点（3分27秒）」についての相談員アンケート結果は以下の通り。



## 3-4. 実証検証総括

### 実証検証全体についての総括と課題

以下、成年向けの実証検証全体を通しての総括と課題について記載する。

- 全体的に「勉強になった」、「理解できた」という回答が多かった
- eラーニング研修の画面表示や操作性については概ね問題なかった
- ログイン機能や管理機能について必要性が高い事が分かった
- 必要性が高い為か、改善要望が集中したのもログイン機能や管理機能であった【課題】
- クイズの難易度や問題数についても改善要望があり、再度適切な内容を検討する余地がある【課題】
- 教材によってはあまり馴染みのない用語が登場するものもあり、見直しが必要な部分もある【課題】
- 事前に対応ブラウザの周知やログイン方法の説明をすることが重要であることが分かった【課題】
- スマートフォンやタブレットにおける操作性の評価や改善要望のコメントも多く、デジタル教材の必要性が伺える結果となった

教材をより良く効果的なものへ改善するため、これらの検証結果と有識者委員の指摘も踏まえて教材改修を行っている。（※現在最終改修中）

今年度内の対応が難しい課題については、来年度以降の検討課題として報告書へ記載する。



## 制作教材の報告について

## 4-1. 教材コンテンツ全体

### ■ 制作教材の制作数と用途

本事業で制作した教材の全体像になります。  
次頁より成年向け教材に関して、各コンテンツの制作内容を報告します。

有識者会議にて作成された[家庭基礎指導計画モデル]をベースに制作

#### 高校生向け教材



制作動画 12テーマ 13本

動画

高校生向け教材 (1本)

- 動画④：インターネット広告の仕組みや注意点とは？



テキスト教材

教材

- <授業で利用>
- テキスト (12本)
- ワークシート (7本)
- <授業準備時に利用>
- 指導書 (1式)

高校生向け教材 (2本)

- アプリ①：チェックしよう！「だまされやすさ」の心理傾向
- アプリ③：デジタル取引体験



アプリ

制作アプリ 7本

高校生/成年共通教材 (3本)

- アプリ②：クイズで確認 消費生活の基礎知識
- アプリ④：ローン利用をシミュレーションしよう
- アプリ⑤：今後の10年のライフプランを体験しよう

#### 成年向け教材

有識者会議にて作成された[成年向け教材全体フレーム]をベースに制作

成年向け教材 (4本)

- 動画②：デジタルプラットフォームの仕組み、注意点、トラブルに遭った時の対応

他

動画③、動画⑤、動画⑩

朱書きの動画6本はeラーニングで使用



eラーニング

成年向け教材 (2本)

- アプリ⑥：若年者層向けeラーニング
- アプリ⑦：中高年者層向けeラーニング

## 4-2. 教材制作内容

### ■ 動画：制作本数

## 動画制作本数は全部で12テーマ 13本 うち成年向けは11テーマ 12本(①～③、⑤～⑫)

- マーカーは高校生用教材
- マーカーは高校生用／成年向け同一教材
- マーカーは成年向け教材

#### <eラーニングで使用する動画>

- テーマ1 (若年者層／中高年者共通) → ① 電子商取引の契約とは
- テーマ3 (若年者層) → ② デジタルプラットフォームの仕組み、注意点、トラブルに遭った時の対応
- ③ CtoC取引と注意点
- ④ インターネット広告の仕組みや注意点とは？
- テーマ3 (中高年者層) → ⑤ お金の管理 (収支予算の算出、多重債務)
- テーマ2 (若年者層／中高年者共通) → ⑥-1 クレジットカードの特徴と注意点とは？
- ⑥-2 キャッシュレス決済の種類と仕組みを理解しよう
- ⑦ 若者に多いトラブルについて
- ⑧ 投資などのお金に関するトラブルや悪質商法について
- ⑨ 定期購入トラブル
- ⑩ 製品の安全性 (通販による海外取引など)
- テーマ5 (若年者層／中高年者共通) → ⑪ 消費生活センターの役割と相談の仕方を知ろう
- テーマ4 (若年者層／中高年者共通) → ⑫ 消費者を保護する制度の内容を知ろう

## 4-2. 教材制作内容

### ■ その他デジタルコンテンツ（アプリ）：制作本数

## 制作アプリは全部で7本

うち成年向けはeラーニング2本、その他アプリ3本（高校生／成年向け共通）の計5本

- マーカーは高校生用教材
- マーカーは高校生用／成年向け同一教材
- マーカーは成年向け教材

### 心理テスト

#### ① チェックしよう！「だまされやすさ」の心理傾向

15の問いに答えて、自分の「だまされやすさ」を測定するデジタルコンテンツです。自身の心理傾向を把握する。

### QUIZ

### クイズ形式

#### ② クイズで確認\_消費生活の基礎知識

デジタル社会の消費生活の教材全般で学んだことを、クイズ形式で理解度を確認する。



### 仮想体験シミュレータ

#### ③ 「デジタル取引」体験

ネットショッピングとフリマサイトの取引のシミュレーション画面をすすめながら、注意事項と取引の流れを学ぶ。

#### ④ ローン利用をシミュレーションしよう

マイホーム、教育、マイカー、クレジットカード、カードローン（リボ払い）について、借入金額や返済期間などの条件を変えて、毎月の支払いや合計の返済額等を、シミュレーションできる。

#### ⑤ 今後の10年のライフプランを体験しよう

長期的な視点を持って、自分の収入に見合ったライフプランを考える。

### e-ラーニング

#### ⑥ 成年（若年者層）向け

意思決定の失敗を、若年者層に多い消費トラブルの事例を紹介。

トラブルに巻き込まれない為の思考方法を学ぶ。  
消費生活に必要な基礎知識を高校生向け授業の教材から抜粋し学ぶ。

#### ⑦ 成年（中高年者層）向け

50代以降の経済管理において知ってほしい知識を、中高年者に多く見られるトラブル事例で紹介。  
トラブルに巻き込まれない為の思考方法を学ぶ。  
また、消費生活に必要な基礎知識を高校生向け授業の教材から抜粋し学ぶ。

## 4-2. 教材制作内容

### ■ Webポータルサイト

## 実証用のWebポータルサイトを制作

- 本実証で扱う各種デジタルコンテンツ（教材、動画、アプリ）の提供や管理機能の提供を目的とした総合Webサイトを制作
- ポータルサイト上には、成年向けeラーニングを掲載しているほか、消費生活にかかわる様々な学習用動画やアプリ、高校生向け教材などを提供
- ポータルサイトを使用して、eラーニングの受講や動画の視聴、アプリの利用が可能
- ポータルサイト上から操作説明書（企業・管理者向け／受講者向け）のダウンロードが可能



## 4-2. 教材制作内容

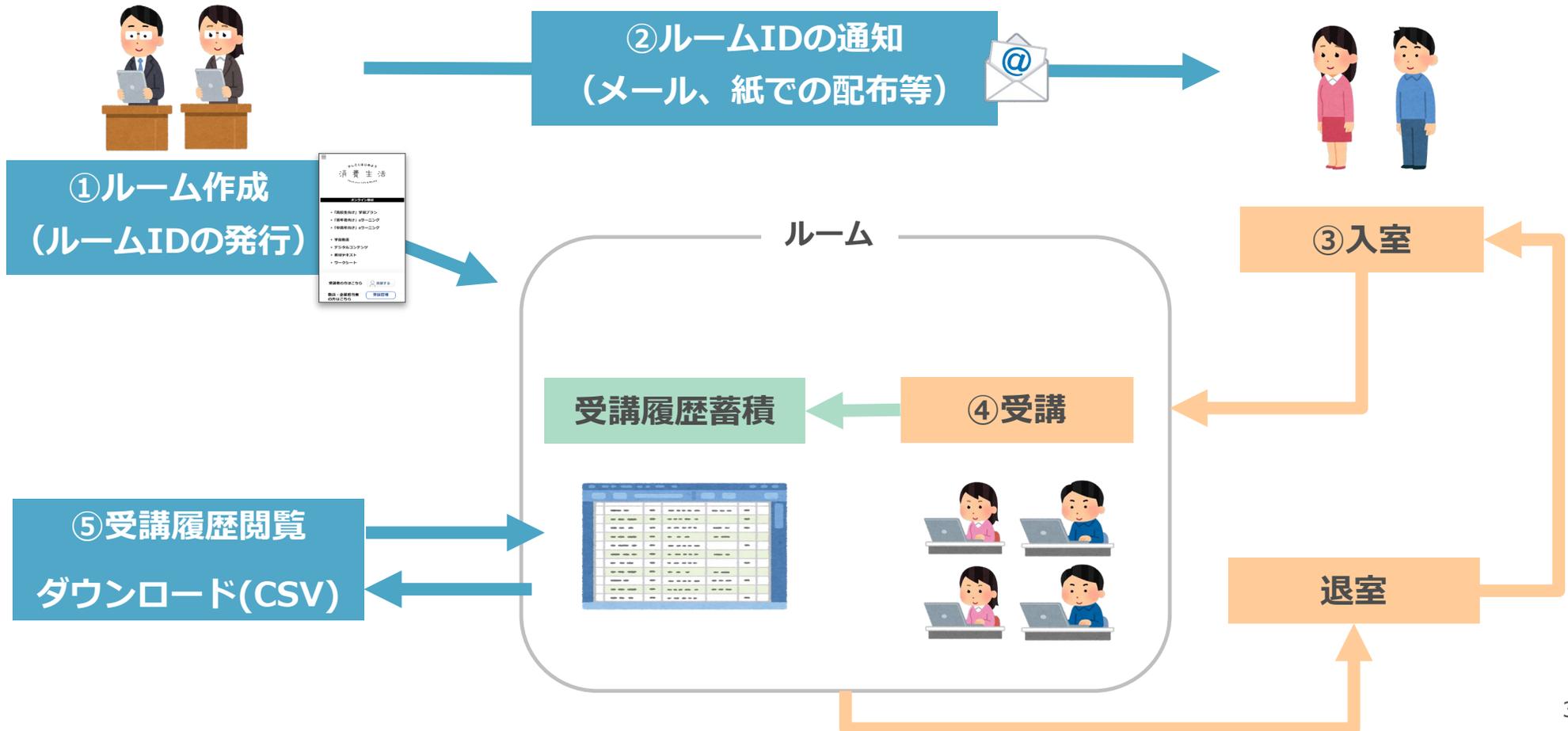
### ■ 管理機能

### 管理機能

Webポータルを介してその他デジタルコンテンツ（eラーニング、アプリ）の学習履歴を管理する機能を提供

| 教員・企業担当者 |

| 受講者 |



## 4-3.教材の改修状況について

### ■ デジタル教材の改修スケジュール及び委員の皆様の教材確認期間について

デジタル教材につきまして、委員・オブザーバーの皆様、実証企業の皆様から頂いた意見を基に改修を行っており、3月中旬に完成予定です。完成した教材は、順次実証用Webポータルサイト上に掲載し、3月14日～**3月25日**※（**Webポータルサイト最終公開日**）の期間でご確認いただけます。

※制作の関係上、動画は3月22日、デジタルコンテンツ（アプリ03,05）は3月18日に完成版をWebポータルに公開致します

#### ◆ 制作部分スケジュール抜粋

- ・ **赤枠部分**が成年向け実証で主に利用したデジタル教材となります

	3月第1週				3月第2週					3月第3週					3月第4週				3月第5週			
	1	2	3	4	7	8	9	10	11	14	15	16	17	18	22	23	24	25	28	29	30	31
分科会						第4回分科会																
デジタル教材制作																						
動画						修正						収録					公開	最終教認期間				ご要望により Youtubeにて確認可能
授業用教材				修正								公開		最終確認期間								ご要望により ファイル共有などで確認可能
その他デジタルコンテンツ（アプリ）				アプリ01,02,04修正								公開		最終確認期間								
								アプリ03,05修正						公開				最終確認期間				
その他デジタルコンテンツ（eラーニング）				修正								公開		最終確認期間								
Webポータルサイト				修正								修正完了		最終確認期間								公開停止